

## 土地・不動産に関するトピックス情報

### ● 将来住みたいのは都市部が6割、地方が4割：全宅連

全宅連・全宅保証は3月26日、「住まい方の意識トレンド調査」の結果を発表した。この調査は、いまの社会環境を含めた住まいに関して、生活者の思考とニーズを把握することを目的に日本国内全域の20歳以上の男女を対象にインターネットを活用して実施。将来の住まいに対する考えや生活者のニーズ、安心して居住または住宅の購入や売却する為の基礎知識の実態などをまとめた。調査期間は2019年1月24日～1月28日（有効回答数：2,400件）。

将来住みたいのは「都市部」が59.0%、「地方」が41.0%とやや都市部が地方を上回る結果となった。二地域居住については「是非やりたい」と「可能ならやりたい」が合わせて23.9%、特に20代の割合が他の年代と比べて高い。また、田園回帰には「仕事や収入などの課題解決の施策が必要」が44.0%と最も多く挙げられ、生活を維持していくための経済面の諸条件を整えることが必要だという事が分かった。

今後のインスペクションの利用については、「是非したい」と回答したのは10.3%にとどまった。年代別では若い年代ほど前向きであり、年代が高いほど利用には後ろ向きであることがわかった。

[お知らせ：全国宅地建物取引業協会連合会](#)

### ● 2018年下期の東京のマンション、賃料、価格ともに上昇：日本不動産研究所

日本不動産研究所は3月14日、「住宅マーケットインデックス 2018年下期」の調査結果を発表した。マンション賃料は、都心5区、東京23区ともに、新築及び中古の大型タイプ（80㎡以上）で1998年調査開始以来の最高値を更新した。

都心5区のマンション価格は、新築の大型と標準タイプ（40～80㎡未満）で上昇、中古の大型タイプは上昇したが、標準タイプは前期比・前年同期比ともに低下した。東京23区では、新築及び中古の大型と標準タイプは上昇し、1998年調査開始以来最高値となった。また、中古の標準タイプは12期連続上昇となった。

[ニュースリリース：日本不動産研究所](#)

### ● 住宅購入者の6割強は購入時に地震を意識：ジェイアイ傷害火災保険

ジェイアイ傷害火災保険は3月13日、『住宅購入と火災保険』に関するアンケート調査の結果を発表した。調査期間は2019年1月8日～1月10日、有効回答数は1026件。

「住宅購入にあたって注意した自然災害は？」の問いに対し、地震の回答が63.3%で最多、次いで台風が39.4%、大雨が29.1%となった。

「加入した火災保険はどこで知りましたか？」の問いに対し、不動産会社からの案内が20.5%、住宅ローン会社からの案内が16.7%、ハウスメーカーからの案内が16.1%となり、住宅購入の過程で不動産会社や住宅ローン会社から案内されるケースが多い。一方で、インターネットで調べたという回答は18.6%であった。

[ニュースリリース：ジェイアイ傷害火災保険](#)